

2. 「ごみを出さない、捨てないまち」を実現するために

ごみを出さない、捨てないまち

ごみを出さないまちづくり

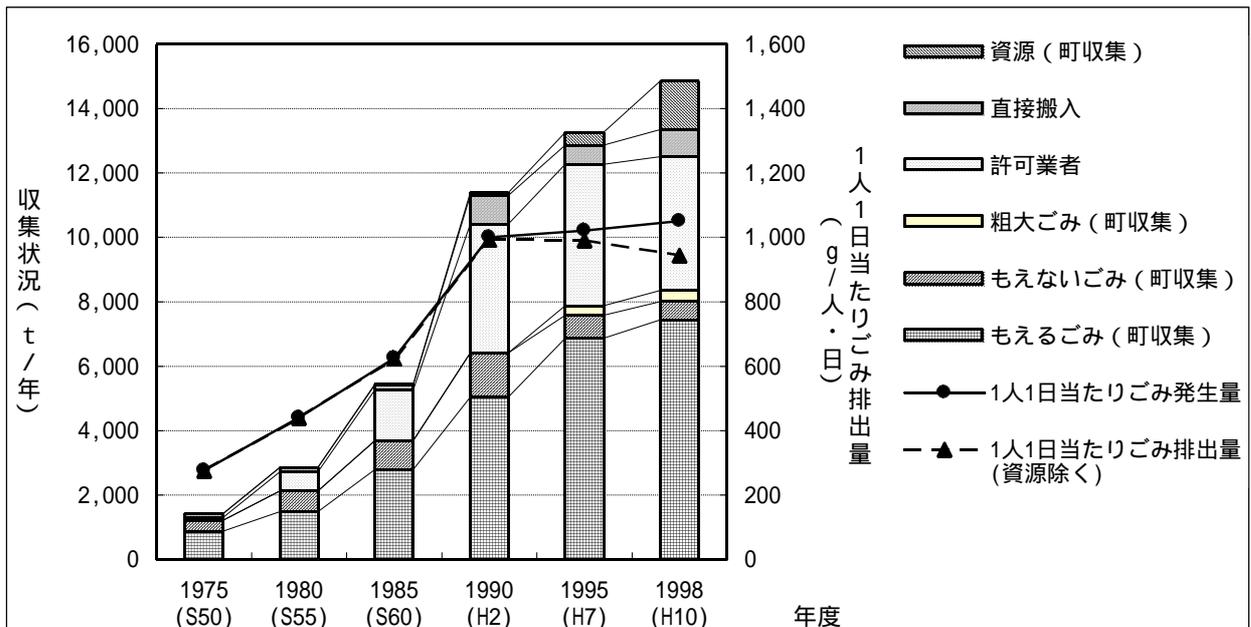
廃棄物の処理問題は、全国のおよび世界的に重要な課題となっており、大量生産・大量消費の社会構造を見直す時期に来ています。

本町では、1人当たりのごみ発生量は増加していますが、家庭から発生するごみから資源回収が進み、1人当たりのごみ排出量は減少傾向にあります。しかし、人口増加や店舗等の事業所の増加にともない、まち全体のごみ排出量は増加しています。

また、本町は今後も土地区画整理事業を中心とした住宅地の整備を計画しており、2020(H32)年の人口予測は65,000人となり、現在の約1.6倍になると考えられ、将来的にもまち全体のごみ排出量は増加すると考えられます。今後行政が力を入れて行すべき環境・公害対策として、「リサイクルを含むごみ減量」を望む割合も1999(H11)年に実施した住民アンケートによると45%以上となっています。

このように、今後ごみ排出量の増加が予想される本町においては、ものを捨てる段階になって減量を考える前に、生産や流通、ライフスタイルにまでメスを入れ、廃棄物が発生しない仕組みを探さなければなりません。

そこで、ごみを出さない、捨てないまちを実現するため、「ごみになるものを買わない、もらわない」という意識改革を含め、「ごみを出さないまちづくり」を進めます。



ごみ発生量の推移  
[資料：ながくての統計]

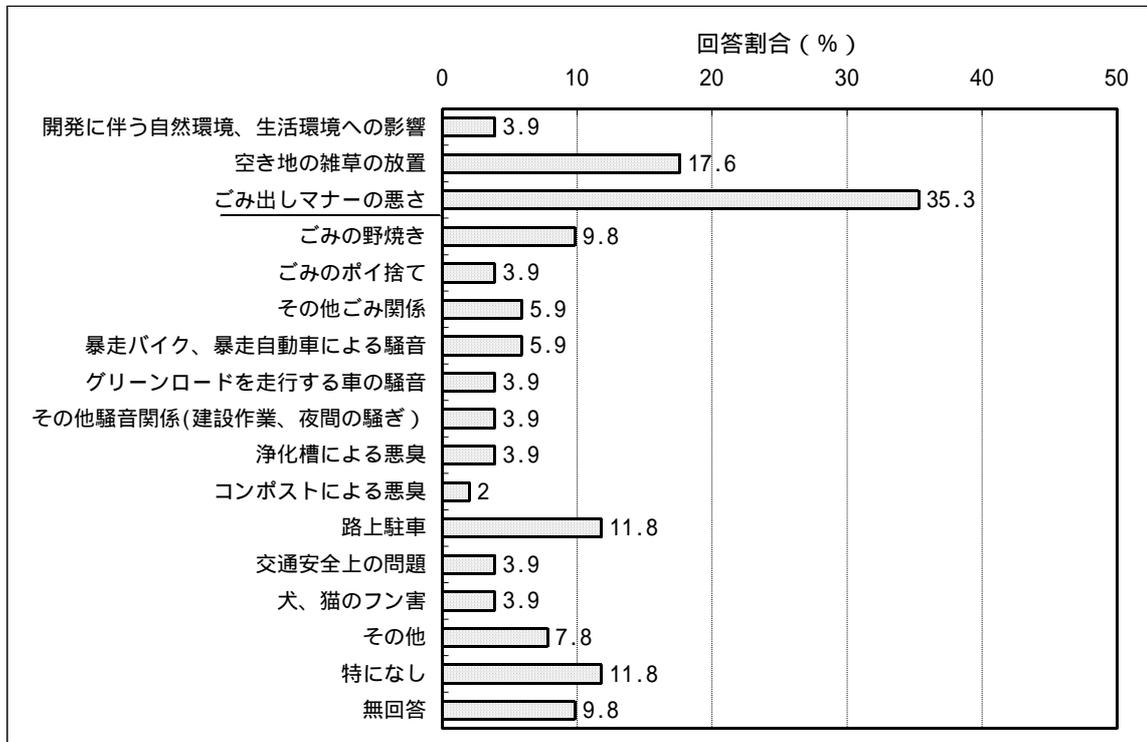
ごみを出さない、捨てないまち

### ごみ出しマナーのよいまちづくり

本町は、学生や単身者等の一人住まいの若者が多く、また転出や転入による人口移動も多いまちです。

このようなことも原因の一つと考えられますが、ごみ出し時間や分別方法を守らないなど、ごみ出しマナーの悪さが問題となっています。

ごみを出さない、捨てないまちを実現するために、「ごみを出さないまちづくり」を進めることはもちろん、リサイクルの推進や住民の意識向上のためにも、「ごみ出しマナーのよいまちづくり」を進めます。



現在または以前に環境について地域で問題となった事項（複数回答）

[資料：地域の衛生委員へのアンケート]